

2022年11月25日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【自動車メーカー】特許資産規模ランキング 2022

トップ3はトヨタ、ホンダ、日産

弊社はこのほど、独自に分類した自動車メーカー業界の企業を対象に、各社が保有する特許資産を質と量の両面から総合評価した「自動車メーカー業界 特許資産規模ランキング 2022」をまとめました。2021年4月1日から2022年3月末までの1年間に登録された特許を対象に、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」を用いた評価を行い、企業ごとに総合得点を集計しました。

その結果、1位 **トヨタ自動車**、2位 **本田技研工業**、3位 **日産自動車**となりました。

【自動車メーカー業界 特許資産規模ランキング 2022 上位10社】

順位	企業名	特許資産規模	特許件数
1位	トヨタ自動車	70,290.4	3,725
2位	本田技研工業	62,404.4	1,808
3位	日産自動車	19,504.6	622
4位	マツダ	11,783.9	298
5位	ヤマハ発動機	6,637.6	183
6位	スズキ	6,144.8	306
7位	豊田中央研究所	6,039.8	329
8位	SUBARU	6,035.9	340
9位	ダイハツ工業	5,046.5	409
10位	いすゞ自動車	4,612.2	305

【算出方法について】

特許資産の規模とは、各出願人が保有する特許（特許庁に登録され、失効や権利放棄されていない特許）を「特許資産」としてとらえ、その総合力を判断するための指標です。特許1件ごとに注目度に基づくスコアを算出した上で、それに特許失効までの残存期間を掛け合わせ、出願人ごとに合計得点を集計しています。注目度の算出には、特許の出願後の審査プロセスなどを記録化した経過情報などを用いています。

経過情報には、出願人による権利化意欲、特許庁審査官による他社特許拒絶への引用、競合他社による牽制行為などのアクションが記録されており、これらのデータを指数化することで、出願人、審査官、競合他社の3者が、個々の特許にどれくらい注目しているかを客観的に評価することができます。

なお権利者情報は2022年6月時点のものを用いております。

1位 **トヨタ自動車**の注目度の高い特許には「駆動力制御を改善した制御装置」や、「電圧検知線を過電流から保護することができる電池配線モジュール」に関する技術が挙げられます。

2位 **本田技研工業**は「レイアウトの効率化を図った車両のバッテリ収納装置」や、「燃料電池スタックのシール部にわたって均等に接触圧を分布させられるプレート」に関する技術などが注目度の高い特許として挙げられます。いずれの特許も、日本以外に中国への出願が見られます。

3位 **日産自動車**の注目度の高い特許には「接触抵抗が低減し、発電性能が向上した燃料電池スタック」や「制御ロジックを簡便にした、自動変速機の油圧制御装置」などに関する技術が挙げられます。

4位 **マツダ**は「優れた衝突性能とステアリング振動性能を有するステアリング支持構造体」、5位 **ヤマハ発動機**は「クランクケースの左にシフトペダルを備えたMT型シフトペダル付エンジンユニット」が、それぞれ注目度の高い特許として挙げられます。

* * *

またパテント・リザルト社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【自動車メーカー業界 特許資産規模ランキング 2022 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・自動車メーカー 特許資産規模ランキング（全期間と 2021 年度のトップ 30）
- ・自動車メーカー 登録特許件数ランキング（全期間と 2021 年度のトップ 30）
- ・全業種 特許資産規模ランキング（全期間と 2021 年度のトップ 100）
- ・全業種 登録特許件数ランキング（全期間と 2021 年度のトップ 100）

▶価格：50,000 円（税抜）

【個別特許の評価データ】

個別特許の評価データを別途ご希望の場合は、お問い合わせください。
件数に応じて右表の単価が適用となります。

件数	単価（税抜）
1件～499件	1,000円/件
500件～999件	600円/件
1,000件～4,999件	500円/件
5,000件～9,999件	300円/件
10,000件～	お問い合わせください

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

Tel : 03-5802-6580

Fax : 03-5802-8271

ホームページ URL <https://www.patentresult.co.jp/>